

令和5年度 前橋高等特別支援学校 ICT活用事例報告



群馬県前橋高等特別支援学校

2024年2月8日

教育情報係

目次

本校では、すべての教員がタブレットを使って優れた授業ができることを目標にして一年間取り組んできました。その一部をご紹介させていただきます。

01. 本校でよく使われているアプリ
02. canvaを使った取り組み
03. kahootを使った取り組み
04. padletを使った取り組み
05. その他の取り組み

01. 本校でよく使われているアプリ



Canva

このWebアプリケーションでは、ポスターやカード、スライドなど、多岐にわたるデザインを簡単に作成することができます。また、動画の制作や配信にも対応しています。Canvaは、これらすべての機能を備え、教育アカウントを使えば、無料で多様な機能を使うことができます。



Kahoot

学習の過程では、既に習得した内容を簡単に確認または復習することが必要です。黒板やスライドを使うこともできますが、Kahoot!というサービスを使うことで、全員参加のクイズ形式で楽しく行うことができます。また、生徒たちは自分たちでオリジナルのクイズを作成することもできます。



Padlet

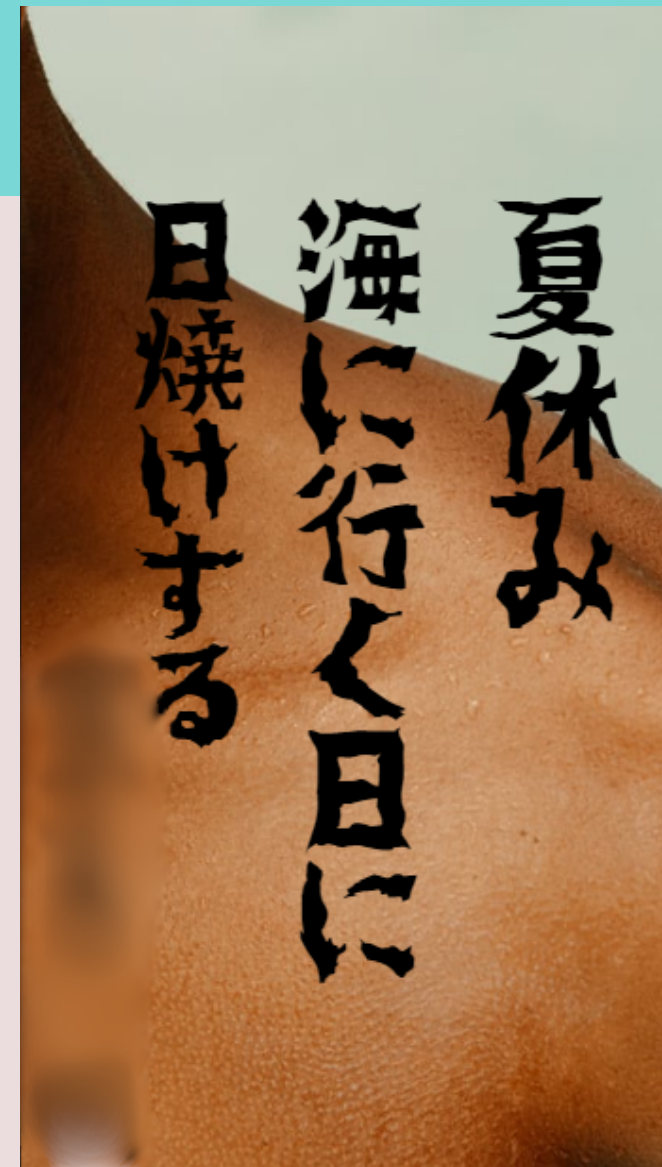
これはオンライン掲示板アプリです。テキストだけでなく、画像、音声、動画、および手書きなど、多様な形式の投稿が可能で、他のユーザーと共有・閲覧・コメントすることができます。

02.Canvaを使った取り組み

○「国語」

作った俳句を絵で表現

国語の授業では、生徒が自由に俳句を作る単元があります。この授業にCanvaを取り入れることで、作った俳句を視覚的に表現することができました。文字だけでは情景や作者の思いが伝わりにくい俳句でも、絵や写真をつけることで、分かりやすく親しみやすいものにすることができました。



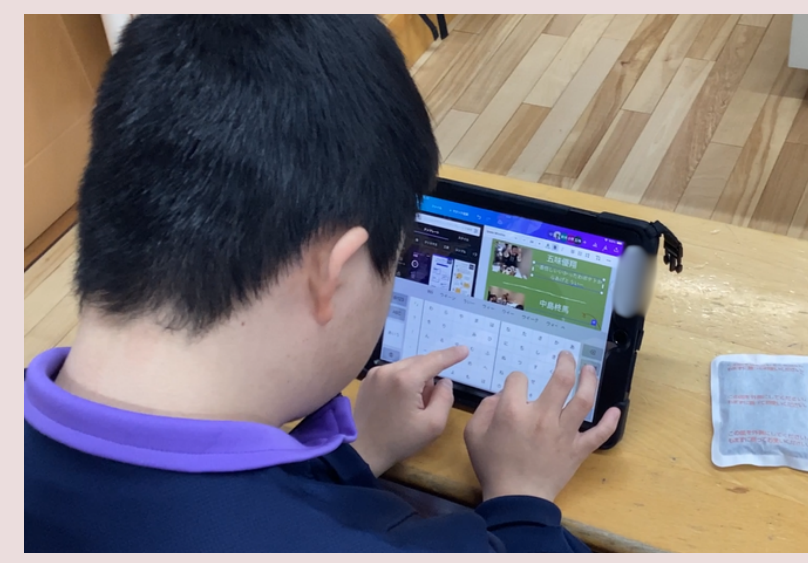


02.Canvaを使った取り組み

○「生活単元学習」

修学旅行のまとめを 共同作業で

これまでみんなで集まって模造紙に写真を貼り付けたり、一人ずつ振り返りシートにまとめていたような学習が、Canvaを使うことで、簡単にタブレット上で共同編集できるようになりました。ひとつの編集画面を複数人で同時に編集できるので、コミュニケーションも活発になりました。また、とても直感的な操作方法なので、慣れば小学部や中学部の児童生徒も取り組むことができそうです。





02.Canvaを使った取り組み

○ 「情報」

選挙ポスターを作ろう 前高特祭ポスターを作ろう

Canvaを使うと、たくさんのテンプレートからイメージに近いデザインを選んで使うことができます。絵を描くのが苦手な生徒たちも簡単にオシャレなポスターが作成できるので、意欲的に活動に参加してくれました。



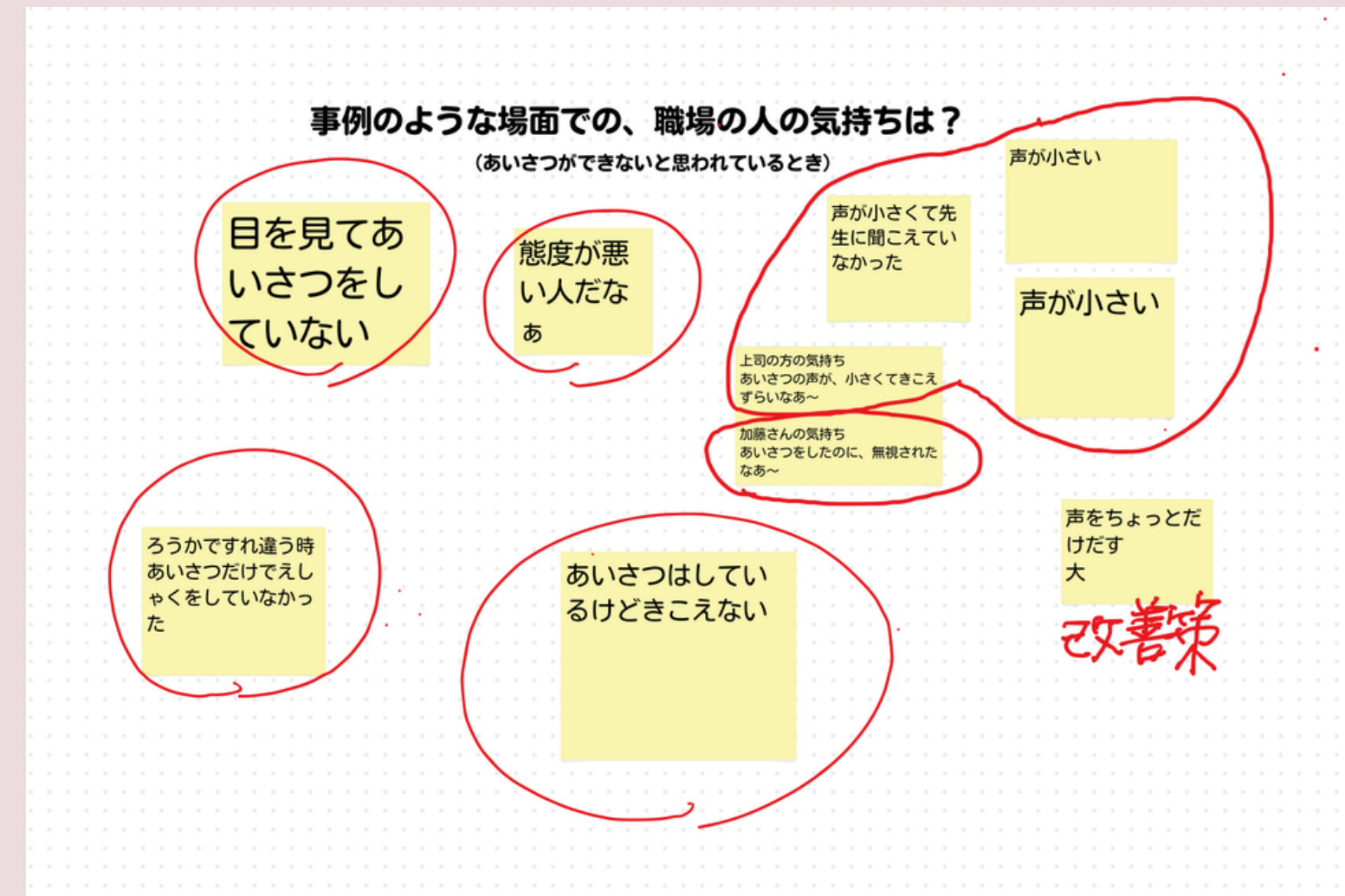


02.Canvaを使った取り組み

○「社会生活」(学校設定教科)

Canvaをデジタルホワイトボードとして活用

Canvaの同時編集機能を使って、デジタルホワイトボードとして活用しました。Canvaの同時編集機能は、リアルタイムで複数人が同じ画面で作業することができるため、グループワークや共同作業にも最適です。生徒たちがアイデアを出し合い、集約していく過程を通して、より深い学びが生まれます。また、デジタルホワイトボードであれば、遠隔授業でも同じように活用することができます。



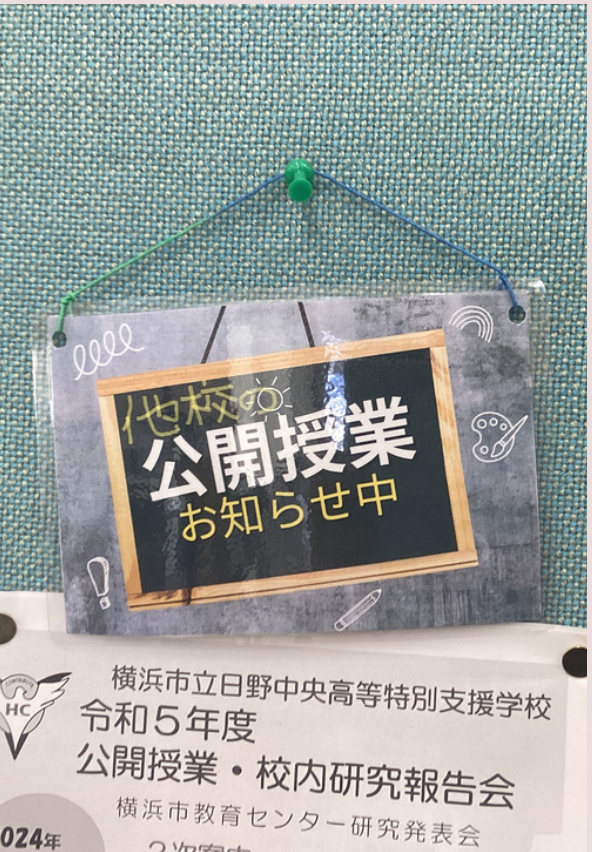
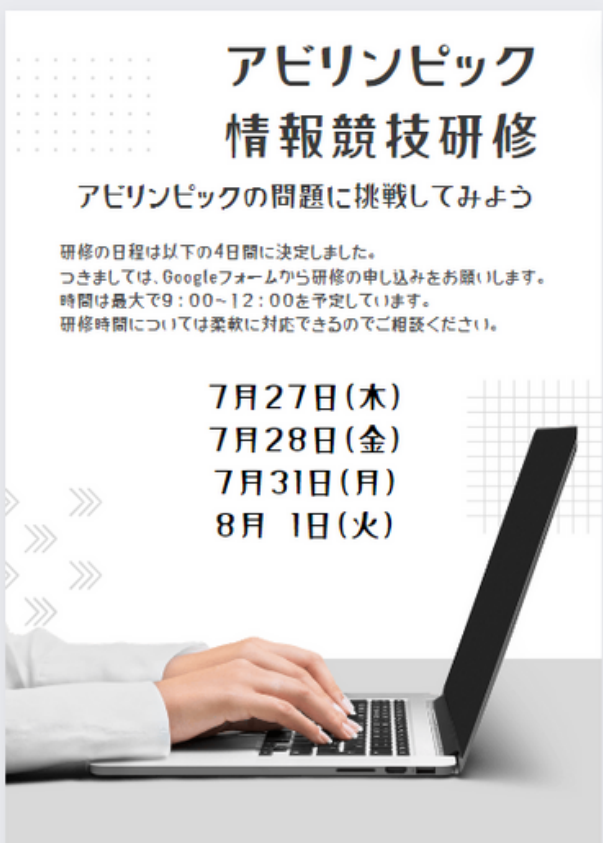


02.Canvaを使った取り組み

○校務分掌「情報係」「研修係」

学校の掲示物をCanvaで

学校の掲示物作成にも活用されており、手軽にスタイリッシュなデザインを作ることができました。多種多様なテンプレートが用意されており、その中から自分が必要なものを選んで簡単に編集することができます。このため、掲示物作成にかかる時間が大幅に短縮され、業務効率の向上につながっています。



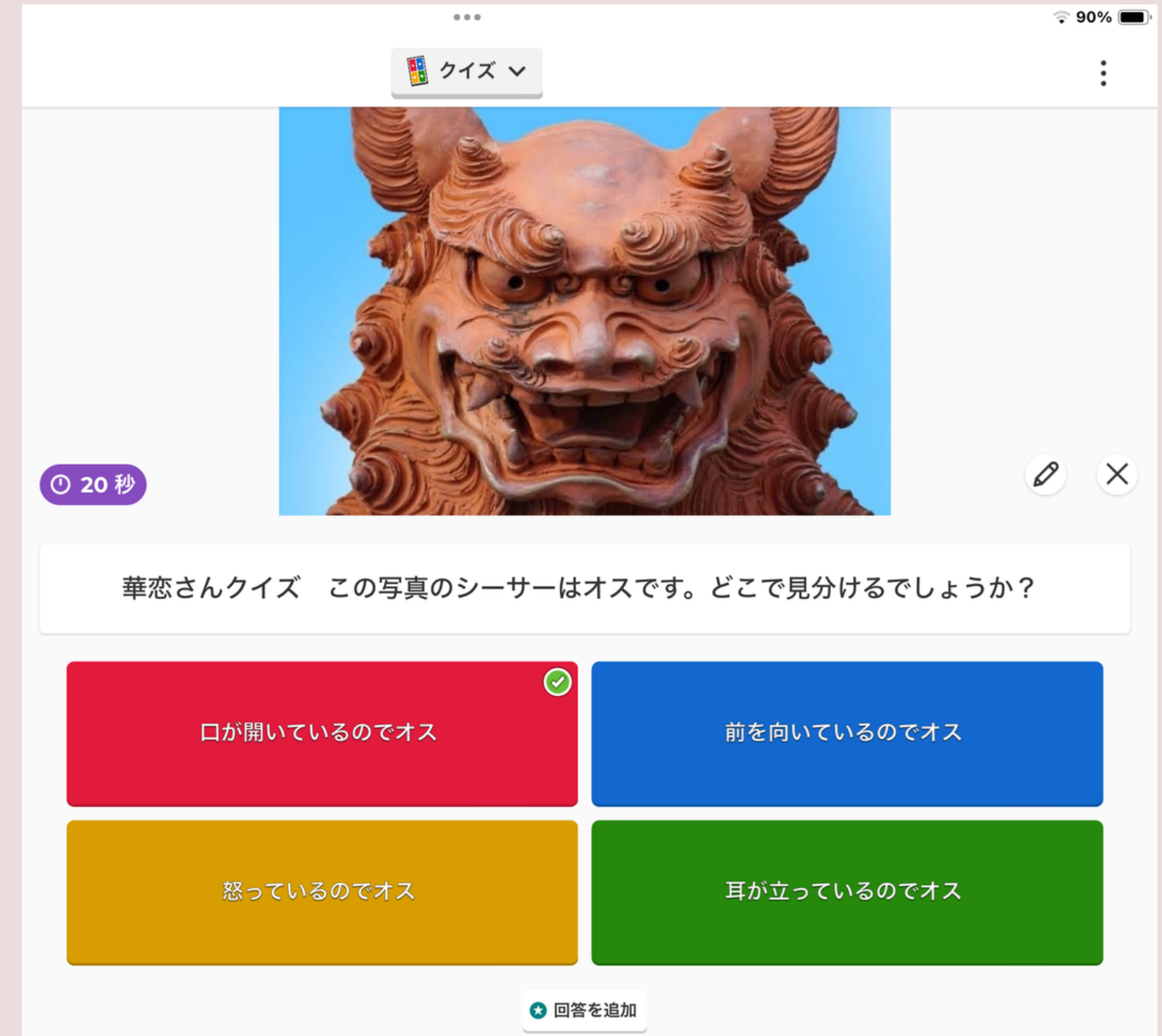


03.kahootを使った取り組み

○「生活単元学習」「特別活動」「情報」

調べ学習の成果をクイズに

修学旅行に向けた調べ学習では、調べた内容をプリントに記録するだけでなく、Kahootを使って自分でクイズにしてアウトプットすることで、効率的に知識を吸収したり共有したりすることができました。修学旅行直前には、みんなの作ったクイズを使ってクイズ大会を行いました。



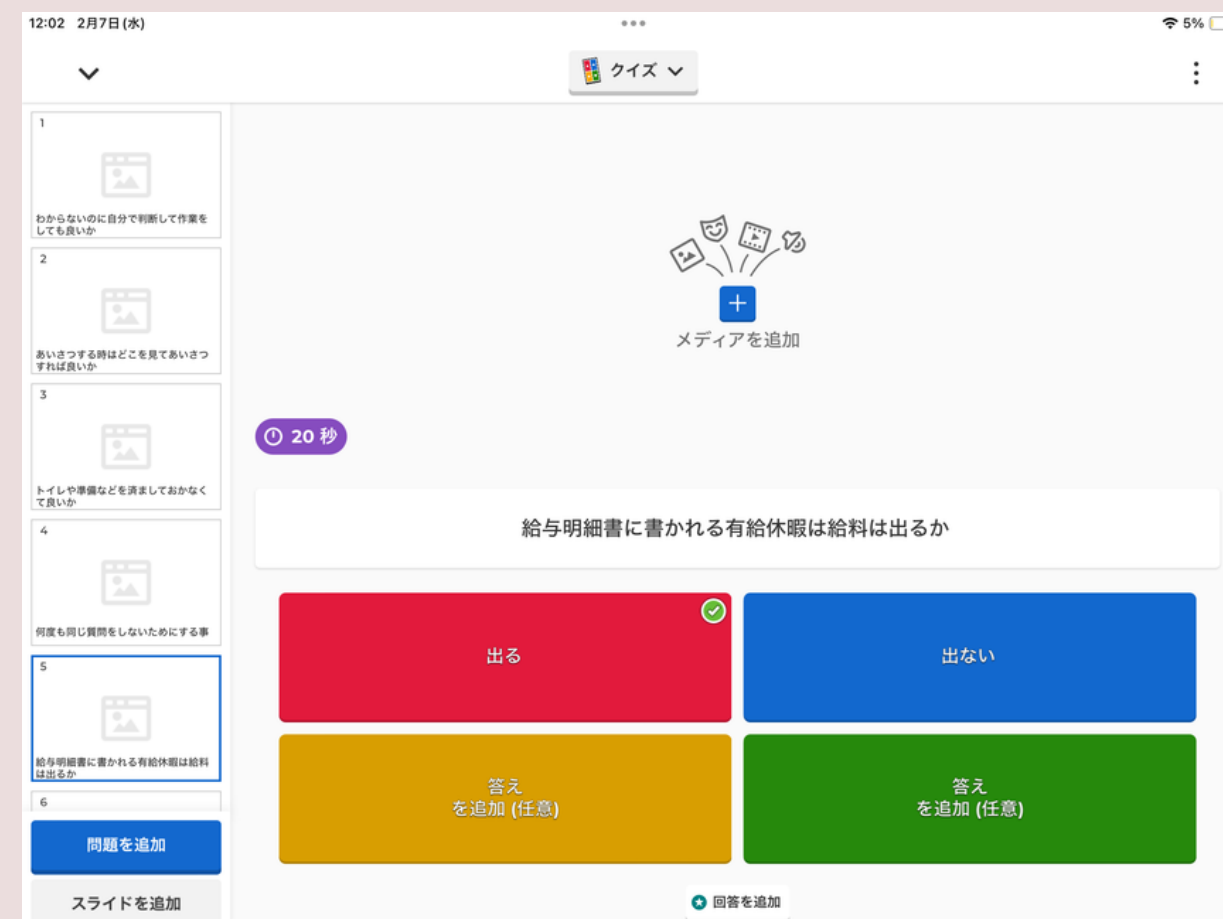
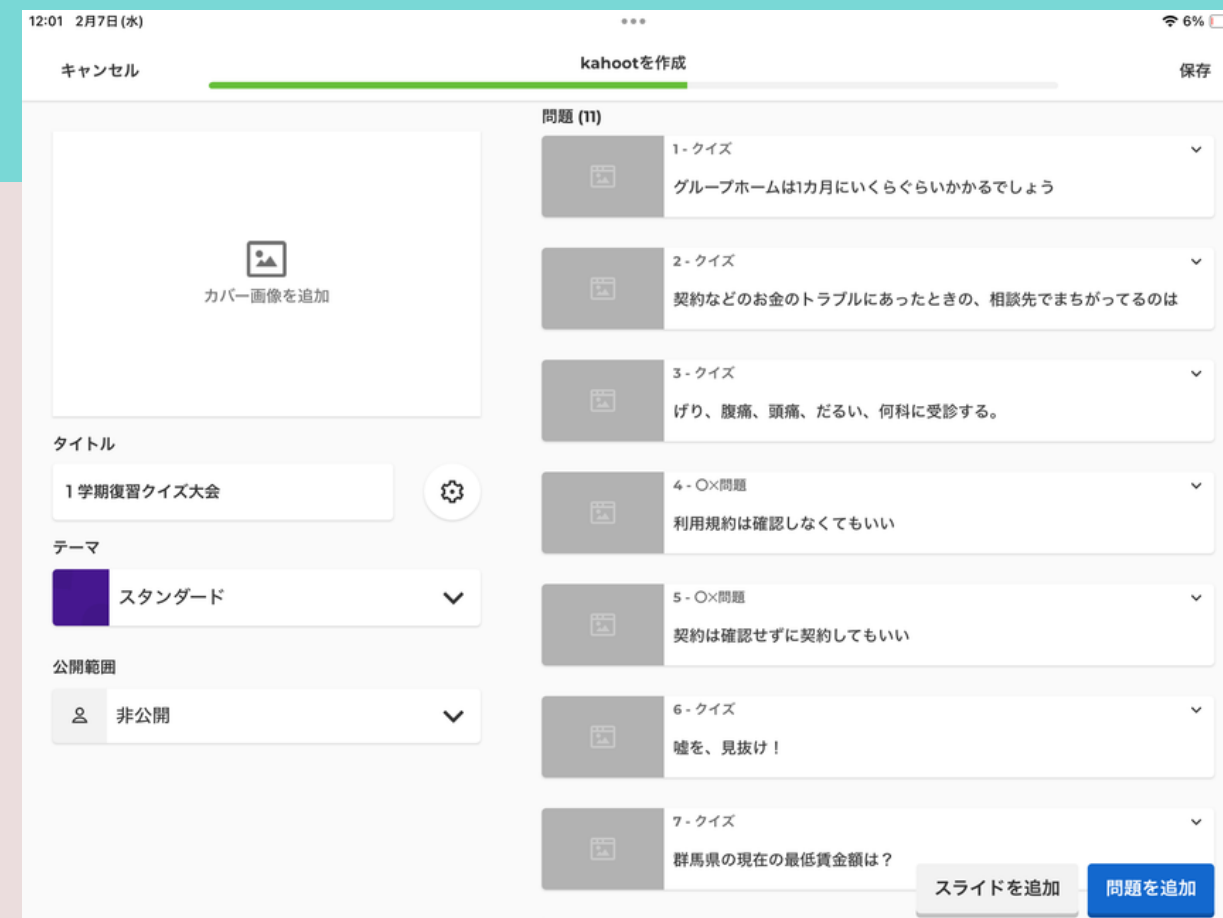


03.kahootを使った取り組み

○ 「社会生活」（学校設定教科） 「国語」 「数学」

授業の振り返りをクイズで

授業の終わりや学期の終わりに学習内容について振り返ることは多いと思います。口頭やプリントで振り返るのではなく、Kahootを使ったクイズにすることで、楽しみながら意欲的に振り返り活動を行うことができました。この取り組みは、数学や国語などの授業でも多く取り入れられています。また、すでに一般公開されているクイズから選ぶことでクイズ制作時間を短縮することができます。





03.kahootを使った取り組み

○夏休みの宿題や自習課題として

家庭学習の課題をクイズで

夏休みの宿題として取り組めるように、カテゴリーに分けたクイズをQRコードにして一覧にしました。何度も繰り返し取り組むことができるので、スムーズな定着を図ることができます。また、満点が取れたクイズにチェックマークを入れることで到達度を把握することができます。





04. Padletを使った取り組み

○ 「国語」

作品の鑑賞・相互評価

授業で作った作品をPadletに公開して、生徒同士で相互鑑賞できるようにしました。作品に手軽にコメントをつけることができるので、情報モラルの学習にもつなげることができました。学校間での作品の相互鑑賞などに発展すると、とても面白い取り組みができると思います。



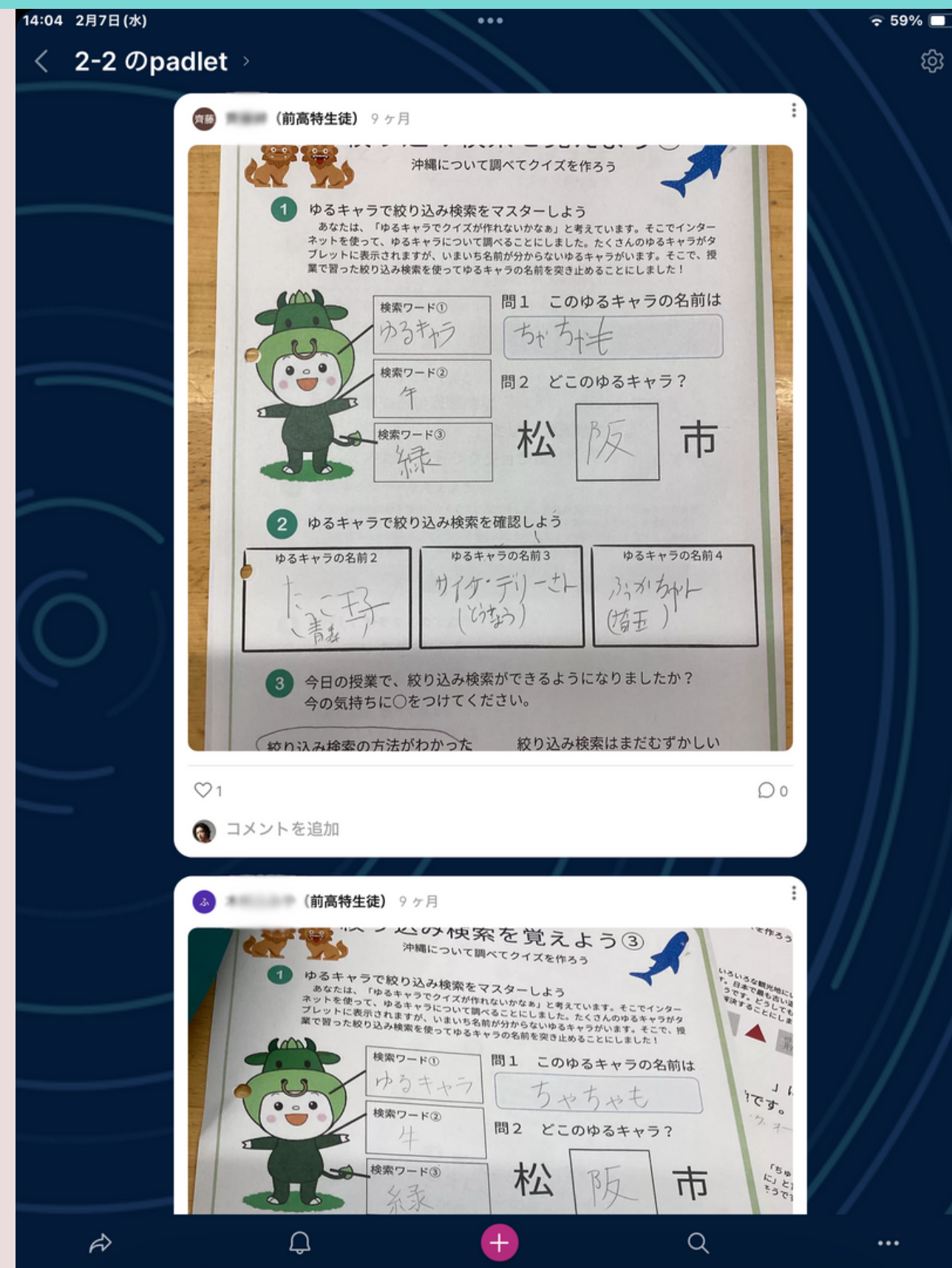


04. Padletを使った取り組み

○「情報」

学習成果の共有・積み上げ

授業で扱ったプリントは、生徒が授業後にクラスのPadletに公開するようにしました。ほかのクラスの生徒が作ったプリントや他学年のプリントも見られるので学習の参考にしたり、自分が3年間で、どのような学習を積み上げてきたのかを一覧でみられたりするようになりました。





05. その他の取り組み

○ 「情報」

学科紹介動画の作成と公開

imovieを使って、自分の学科を紹介する動画を作成しました。写真や動画の長さを編集したり、自分でアフレコして説明を加えたり、テロップを作成しました。ユーチューバーに憧れる生徒はたくさんいるので、興味をもって取り組んでいました。その後、Flipという動画をQRコードに変換できるアプリを使ってポスターにし、前高特祭で紹介しました。





05. その他の取り組み

○ 「情報」

SNS用スタンプを作ろう

SNSを通じたコミュニケーションの特性について学習する際に、自分でSNS用スタンプをデザインすることで、スタンプを受け取る相手の気持ちを考えたり、相手に気持ちが伝わりやすい工夫について考えたりしました。

